

◆メトグルコ薬剤情報◆

医薬品効能

製品名 メトグルコ錠

規格 250mg 1錠

一般名 メトホルミン塩酸塩錠

メーカー 大日本住友製薬

効能 多嚢胞性卵巣による排卵障害に対して効果があることが示されています。

組織での糖の消費を促進して、新しく糖が生成されるのを抑えて血糖値を下げます。

基本的には糖尿病の治療に用いられます。

【重要な基本的注意】

多嚢胞性卵巣(PCO)はインスリン抵抗性の状態が原因と言われております。インスリンは血糖を調整するためのホルモンで、血糖が上がるとインスリンが膵臓から出てきて血糖を下げます。インスリン抵抗性とはインスリンが出て血糖の調整が速やかに起こらず更にインスリンが分泌されることを意味します。過剰にインスリンが出される高インスリンの状態は卵巣の働きを鈍らせて排卵障害を引き起こします。メルビンはこのような環境を改善して排卵障害を治す働きがあることが分かっております。ただ、この薬は糖尿病に対しては健康保険の適応になりますが、PCOの排卵障害には適応にはなっておりませんので自費診療になりますことをご了承下さい。

まれに、重篤かつ遷延性の低血糖、重篤な乳酸アシドーシス(頻度不明)を起こすことがあるので、高所作業・自動車の運転等に従事している方はご注意ください。PCOの排卵障害の治療においては現在のところ重篤な副作用の報告は出ておりません。時に吐き気や嘔吐などの消火器症状があることがあります。嘔吐が出現するようでしたら内服を中止してください。食事を取らないで服用すると低血糖になる可能性があるため、そのときは薬の服用は避けてください。低血糖の症状は冷や汗・動悸・いらいら感などです。ひどくなると意識を失ってしまうことがあります。症状が出たらすぐに砂糖の入った飴やジュースを摂ってください。乳酸アシドーシスは前駆症状として腹痛・下痢・倦怠感・筋肉痛・過呼吸(呼吸が速くなる)などが現れます。そのような場合には、服用を中止してください。また、低血糖および乳酸アシドーシスに関してご家族の方も理解をお願いしております。

副作用の早期発見のために毎月定期的な血液検査(肝機能・貧血・血小板・白血球・乳酸)を行います。不明な点は遠慮なくお聞き下さい。